



### 3. 分析・考察

#### 3. 1. 「ません形」「ない形」の使用状況

##### 3. 1. 1. 対象者別使用状況

まず、14名の調査対象者（以下「話者」、「相手（聞き手）」と呼ぶ）の「ません形」と「ない形」の使用状況を下に示す。表から、2つの否定形式の使用には、個人差があることがわかる。

表1【対象者別使用状況】

| 番号    | 「ません」形 | 「ない形」 |
|-------|--------|-------|
| I M01 | 8      | 40    |
| I F02 | 3      | 9     |
| F01   | 2      | 2     |
| F02   | 0      | 2     |
| F03   | 0      | 5     |
| M04   | 0      | 4     |
| F05   | 3      | 2     |
| M06   | 3      | 1     |
| M07   | 6      | 2     |
| M08   | 1      | 9     |
| F09   | 0      | 2     |
| M10   | 1      | 2     |
| M11   | 1      | 1     |
| M12   | 4      | 10    |
| 計     | 32     | 91    |

##### 3. 1. 2. 形式別使用状況

次に、データに現れた各形式の使用状況を示す。表から、否定形式に前接する形式（品詞、語彙など）によって、用いられる否定形式に偏りがあることがわかる。

表2【形式別使用状況】

|             |    |
|-------------|----|
| 動詞          |    |
| （行き）ません     | 26 |
| （行か）ないです    | 21 |
| 存在詞         |    |
| ありません       | 3  |
| ないです        | 18 |
| 形容詞         |    |
| （寒く）ありません   | 0  |
| （寒く）ないです    | 1  |
| 名詞・形容動詞     |    |
| （学生）ではありません | 0  |
| （学生）ではないです  | 4  |

|              |    |
|--------------|----|
| かもしれません      | 4  |
| かもしれないです     | 21 |
| じゃありません（か）   | 0  |
| じゃないです（か）    | 5  |
| わけじゃありません（か） | 0  |
| わけじゃないです（か）  | 3  |
| こと（も）ありません   | 0  |
| こと（も）ないです    | 2  |
| の（ん）じゃありません  | 0  |
| の（ん）じゃないです   | 8  |
| ないといけません     | 0  |
| ないといけないです    | 1  |
| という感じではありません | 0  |
| という感じではないです  | 1  |
| しょうがありません    | 0  |
| しょうがないです     | 1  |
| すみません        | 4  |
| すまないです       | 0  |

\* 上記の「では」と「じゃ」は置き換え可能

#### 3. 2. 「ません形」の用法

語の形式として定着している（語彙化）と考えられるものとしては、「すみません」がある。「すみません」は、相手への「詫び」を述べる表現として、最大限の待遇的配慮を払い、丁寧に、改めて述べる語であることから、「ません形」の使用が定着してきたものと考えられる。つまり、語彙化の過程で、その語の持つ意味特徴によって、「ない形」と「ません形」に分かれると考えられるのである。

語彙化した形式やモダリティ形式を除いた動詞においては、「ません形」と「ない形」の使用が拮抗している。両形式の分布の差の要因の一つとして、当該発話の会話中に現れる位置が考えられる。「ません形」と「ない形」を並立して用いている話者の場合、図1に見られるように、「ません形」を会話の開始部ないしは会話中の新しい話題の開始部の発話で用いる傾向が観察された。また、「伝えたい内容（情報）の中心部分」を述べた発話であるかどうかということも、要因の一つであると考えられる。否定形式の後ろに「けど」という接続助詞が付加した場合を検証した結果、「ません形」の使用は、伝えたい内容の中心部分を述べて、そこで言い終わる（言い終わる意識で述べた）発

話で用いられる傾向が観察された。下に用例をあげる。

例2 (「いい天気ですね」という表現を使うかどうかという会話で)

I 01 あの一、友達同士ではまずない、っと思うんですけど、どうですか、あんまり親しくない人の場合、でも、あんまり使  
いませんか。↑

M07 いい天気ですね、ですか、↑ ん一、使  
いませんね。

例3 (親に口答えるかどうかという会話で)

I 01 (略) その特徴としては、言葉を返す  
て言ってきましたけどまあ、口答えるっ  
ていうことでしょうけど、それはどうで  
すか、私は一ありますけど一、口答える  
、ことはありますけど一、あ、どうで  
すか。

M07 口答えですか、んまあそれは一、親が道  
理に合ってることを言っていると [僕は別  
に] 口答えはしませんけどね。

I 01 {笑い} その一言ってる内容による[…]

M07 そういうことですね。

I 01 あ一。

### 3. 3. 「ない形」の用法

3. 1. 2から明らかなように、(用例数は少ないが) 形容詞、名詞・形容動詞、モダリティを表す「かもしれない/じゃない」などの形式では(「かもしれない」は、そのうち3例が同一調査対象者によって用いられており、使用形式に個人差があることがうかがわれる)、ほとんどの用例で「ない形」が用いられている。また、語彙化したもので「ない形」に固定化されたものの用例としては「しようがない」がある。以下に用例を示す。

例4 (夫婦別姓問題についての会話で)

I 01 あ、じゃあ変えない場合の問題点ってのは、特に、あまり意識、したことがない、  
っていうことでしょうか。

M05 や、そんな、意識してないわけじゃない  
ですけど、

I 01 え一。

M05 ん一、特に、ん一、もの  
すごく困った状、困る状況に  
//なるっていうのは、あんまり、

I 01 え一。 え一。

M05 ないと思う//ので、うん。…そうですね。

例5 (「いい天気ですね」という表現を使うかどうかという会話で)

I 01 え一つと一、日本人の人にねえ、いい天  
気ですかって言いますか、って国別で比  
較してもしようがないですけど、どうで  
すか、あの一、Mさん自身は言いますか  
一。

F02 はい。

次に、語彙化した形式やモダリティ形式を除いた動詞の場合について、「ません形」同様、「けど」という接続助詞が付加した場合について検証する。「ません形」を用いる場合と異なり、「ない形」は、「伝えたい内容の中心をなす部分の背景的な内容」を述べる発話、そこで言い終わると言うよりむしろ後に続く内容がある(あるいは後に続く内容を意識した)発話において用いられる傾向が観察された。下に用例をあげる。

例6 (日本の親子関係についての会話で)

I 02 でもなんか、コミュニケーションが足り  
ないのかなって、どうなんでしょうね。

M11 コミュニケーション…あーまあ、ほかの  
家がどうなのかよく//分からないです  
けど、

I 02 {笑い} そうですね。

M11 えっ、そのコミュニケーション能力がな  
い、あの、あん、あ、コミュニケーシ  
ョンがあんまりないっていうのはさっきの、  
親を馬鹿にしていると、そういう話から  
// [きた]

I 02 たぶんつながって//いるんだと、

M11 つながってきてい  
るんだと思うんですけど、

なお、「ないすかね」(「ないですかね」の縮約されたもの)、「わかんないです」(「わからないです」の縮約形式)のような、丁寧体を用いている中にもくだけたスタイルを取り入れた発話では、「ない形」が用いられていることも、「ません形」と「ない形」の用法差の要因として重要なものである。

### 4. おわりに

以上、現代の会話で並立して用いられる丁寧体の否定形式「ません形」と「ない形」について、

自然な会話資料から作成したデータを分析し、考察した結果、次の結論を得た。まず、「ません形」は、「すみません」という語、会話の開始部や新しい話題の開始部などの改まり度の高い発話、情報の中心である内容を述べ、言い終わる（言い終わる意識を持って述べられた）部分での発話で用いられるなど、話し手の聞き手に対する配慮が、当該発話を発する瞬間から意識され、否定という話し手の判断が述べられる場合に用いられる。一方、「ない形」は、縮約表現などを用いた改まり度の低い発話や、モダリティ表現として定着しつつある表現の構成部分、中心的情報内容の背景的な情報を述べる発話で用いられるなど、否定（形式）を示した後で、話し手の聞き手に対する配慮が働く（改めて示される）ような場合に用いられる。

今後は、データ数を増やすなどして、本研究で得た結論を補強し、さらなる体系化をはかってきたい。

#### 【注】

- (1) 次の5種類の初級日本語教科書を参照した。
  - ア) 海外技術者研修協会編 1990. 『新日本語の基礎Ⅰ』 スリーエーネットワーク
  - イ) スリーエーネットワーク編 1998. 『みんなの日本語』 スリーエーネットワーク
  - ウ) 国際交流基金編 1981. 『日本語初歩』 凡人社
  - エ) 水谷修他 1977. 『An Introduction to Modern Japanese』 The Japan Times
  - オ) 名古屋大学総合言語センター日本語学科編 1983. 『A COURSE IN MODERN JAPANESE VOL. ONE』 名古屋大学出版会
- (2) 上記の日本語初級教科書では、形容詞の丁寧体の否定形として、「～くありません」と「～くありません」の2形式のうち、3種類が「～くありません」、2種類が「～くありません」をあげている。
- (3) 例の各記号は、以下のことを示す。
 

I : インタビュアー

F/M : I 以外の調査対象者で、Fは女性、Mは男性

I 01/F 01 : 数字は調査対象者番号でIは01～02まで、その他の対象者は01～12まで

// : 重なり発話の開始位置

↑↓ : 上昇調、下降調のイントネーション

[ ] : 不確かな語句

[...] : 聞き取り不能

{ } : 笑い、吸気などの言語外の要素

(4) 図1の各記号および線は、以下のことを示す。

○ : 否定形式「ないです形」を用いた発話

⊗ : 否定形式「ません形」を用いた発話

○——○ : 同一話者または異なる話者の連続した発話の場合

○-----○ : 同一話者の発話の間に複数の発話が存する場合

返 : 返事

#### 【参考文献】

- [1] 寺村秀夫 1984. 『日本語のシンタクスと意味 第Ⅱ巻』, くろしお出版
- [2] 小川芳男他編 1982. 『日本語教育事典』, 大修館書店
- [3] 金田一春彦他編 1988. 『日本語百科大事典』, 大修館書店